

地域密着型特別養護老人ホームわかば
令和6年度 第3回 運営推進会議

施設長	作成

開催日時		令和6年8月26日(月)	午前11時～午前11時40分
開催場所		特別養護老人ホームわかば 1階 会議・研修室	
サービス区分		地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	
出席者の状況	委員（職種）	委員数（9）名／出席（10）名	
		（利用者代表）	（家族代表）
		（地域代表）	（市町村職員）
		（第三者委員）	（知見を有する者）
		（中央包括職員）	
	職員（役職）	一(特養わかばイースト施設長)	
		特養わかば生活相談員)	
（特養わかば施設長）			
報告事項		出席者紹介 ● 活動状況報告 ● サービスの質の向上にかかる事項 ● その他、意見交換	

次第

出席者：別添資料（スライド⑭）に構成メンバーを記載。

開催にあたり、参加予定の特別養護老人ホームわかばイースト施設長が業務都合により欠席となる報告が行われる。

● 地域密着型特別養護老人ホームわかばの活動状況報告

1. 活動状況報告（スライド③～⑤）

今期6～7月の稼働推移についての報告。6月度は満床件数870件に対し864件（入院空床6日間）となる99.3%、7月度は満床件数899件に対し898（入退空所1日）となる99.9%。

- 男女別稼働件数推移、ユニット別稼働件数推移
- 要介護度別利用者数推移

毎月末時点では29名の利用となり、令和6年7月末時点における要介護別利用者は以下の通り。

要介護5認定者 8名(27.6%)

要介護4認定者 15名(51.7%)

要介護3認定者 6名(20.7%)

2. ユニット別平均要介護度、平均年齢（スライド⑥）

施設全体平均は4.1(女性：4.1、男性：4.0)前回報告同様。

年代構成は60歳代× 1人

80歳代×11人（前回報告より1増）

90歳代×17人（前回報告より1減）

- サービスの質の向上にかかる事項

3. 人員体制（スライド⑦）

介護職員に占める介護福祉士の割合（14名中11名＝78.6％）。

初任者研修修了者のうち2名は実務者研修受講中となり、介護福祉士資格試験にチャレンジ予定。介護職員における無資格従事者は0人。

4. 事業所の取組み（スライド⑧）

- 嘱託医の往診2回／月（隔週(第1・3)月曜日)
- 理美容サービス…1回／月（月1回の訪問では希望のお客様への支援が足りず、不定期で日程を設けている）。
- セブンミール…2回／月（第2・第4木曜日）開催。
- わかば栄養サポートチーム…毎月1回開催。
- 行事等

3ヶ月ごとの職員個人面談を6月11～21日、実施済み

地域密着型サービス集団指導7月30日、参加

5. 職員研修状況（スライド⑨）

年次研修実施報告。

- 感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する研修（6月4日、実施済み）
施設内発生を想定した訓練（ユニット単位で実施済み）
- 医療に関する研修（7月9日、実施済み）
- 口腔ケアに関する研修（7月日、実施済み）

※なお、研修に参加できない職員は全員レジュメに沿ったレポート提出を義務付ける。

6. 苦情、事故、ヒヤリハットについて（スライド⑩～⑫）

- 通期として、事故報告14件、ヒヤリハット報告29件。期間としてヒヤリハット報告件数が増加しているが、職員の意識の高まりから報告件数が増加したものと捉えている。
 - ヒヤリハット分類では「外傷」が79％を占め、事故分類においても「外傷」が64％に達している。
 - 「外傷」が多い理由として、入浴介助や更衣介助において皮下出血痕の発見。いつ、どこで、どういった状況で起きたものか、精査する必要がある。
- 参加者からの意見・ご提案等について、
（ご家族様）
 - 意見や提案など特段ないが、いろいろな行事に参加させてもらい楽しんでいる様子がある。

かがえ、ありがたく思う。本人も面会の時の表情が和らいでおり、利用できてよかったと感じている。

(地域代表)

- 地域からの報告等は特にはないです。

(第三者委員)

- 報告のあった稼働件数について、変動があるのは何故か。
 - _ 定員 29 名×月の稼働日数を満床件数として捉えているため。
- 働く人材が少なくなるなか、団塊の世代が後期高齢者となりケアを必要とする方が増えていくと思うが、待遇面での改善など考えているものはあるか。
 - _ 今回の報酬改定でプラス改定となっており、さらに職員の給与に反映される処遇改善の見直しも行われている。働き方改革も報道等で扱われ、公休の日数等も増やしている。

(知見を有する者)

- コロナ感染症など職員から事業所・施設に持ち込まれるケースが多いので気を付けてほしい。
 - _ 5類に移行してから、県外往来等の申請は不要としている。グループ事業所の傾向としては、お客様の感染から職員への流れがほとんど。感染禍を踏まえ検査キットは確保できており、いつでも検査できるようにしている。

(市町村職員)

- ヒヤリハット報告より、報告数の増加＝意識の高まりと感じた。
- 9月27日開催の「認知症フェア」の告知。

(中央地域包括)

- 担当の地区の訪問活動を展開中。地域の皆様からは「わかば」の知名度の高さを感じる。
- 9月25日開催の「人生会議」の告知。

(生活相談員)

- 特段の補足説明やお知らせはありません。

その他

定期（1回／月）発行わかば会通信を参考資料として添付。

次回の開催予定月は偶数月の10月度の開催として調整。